



歓迎

尾道市長旗大会 顧問

(一社)尾道市体育協会 会長 元 廣 清 志

第25回尾道市長旗争奪シニア野球大会の開催、誠におめでとうございます。市制施行120年を迎えた尾道市における本大会の開催を、心より歓迎申し上げます。

この大会は、しまなみ球場をメインに全7会場を使用して、近畿・中国・四国から招待された24チームが熱戦を繰り広げるものとお聞きしております。西日本の各地から多くの中学生球児がこの尾道に集い、野球を通じ技術を磨くと同時に交流を深めることは、若い皆様の長い人生において、有意義なことと考えます。

さて、広島県の野球を取り巻く環境は、広島カープの平成28年・29年のセ・リーグ連覇、そして、今年はセ・リーグ3連覇と日本シリーズの制覇に向けて盛り上がりを見せております。また、8月5日からは、第100回全国高校野球選手権記念大会が開催されるなど、暑い夏を迎えています。2年後の平成32年には、2020東京オリンピックが開催され、「野球」は公式競技として復活いたします。今年、広島県内では、メキシコの事前合宿が実施されており、各種目の国際レベルの選手とのふれあいを経験できるものと思われまます。皆さんは東京オリンピックの出場には間に合いませんが、将来、高校・大学・社会人及びプロ野球で活躍しオリンピックに出場する選手に育つことを期待いたします。

指導者の方々には、野球を通じた人材育成に日々精進されておられることに、心より敬服いたします。選手である中学生は、肉体的・精神的に、大きく成長する時期であります。この時期に野球を通じた人間教育は時宜を得たものであります。野球の技術のみに捉われず、人間として大きく育ててもらいたいものと願っております。

最後に、本大会の開催にご尽力くださいました関係者の皆様に、心から敬意を表しますとともに、この大会に参加した選手全員にとって、大会が実り多く、心に残るものとなりますよう祈念申し上げまして、歓迎の挨拶といたします。